

(統合分野)

授業科目	在宅看護方法論 I	講師	看護教員 外部講師 (看護師)	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.在宅における訪問看護の基本技術を習得する。 2.在宅で行われる治療・処置における看護技術を理解する。				時間数
					30
					学年
					2
					時期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	在宅における食生活、嚥下に関する援助技術	1.在宅での食生活の特徴 2.食生活、嚥下に関するアセスメント 1)対象のアセスメント 2)介護力のアセスメント 3)環境のアセスメント 3.食生活・嚥下に対する援助技術		講義	教員
2	在宅における清潔に関する援助技術	1.在宅での清潔援助の特徴 2.清潔に関するアセスメント 1)対象のアセスメント 2)介護力のアセスメント 3)環境のアセスメント 3.清潔に対する援助技術		講義	教員
3	在宅における排泄に関する援助技術	1.在宅での排泄の特徴 2.排尿に関するアセスメント 1)対象のアセスメント 2)介護力のアセスメント 3)環境のアセスメント 3.排便に関するアセスメント 4.排尿、排便に対する援助技術 5.ストーマケア		講義	教員
4	在宅における移動に関する援助技術	1.在宅での移動・移乗の特徴 2.移動・移乗に関するアセスメント 1)対象のアセスメント 2)介護力のアセスメント 3)環境のアセスメント 3.移動・移乗の援助技術と安全確保 4.移動・移乗の援助技術の実際		講義 演習	教員
	在宅における、活動・休息・睡眠に関する援助技術	1.活動・休息・睡眠に関するアセスメント 1)対象のアセスメント 2)介護力のアセスメント 3)環境のアセスメント 2.活動・休息・睡眠に対する援助技術			

5	在宅看護における基本技術	1.家庭訪問の意義 1)対象者の生活の場を訪問することの意義 2.訪問時のマナー 1)訪問前の準備と訪問時のマナー 3.面接の方法と技術 1)初回訪問の面接技術 2)訪問時の留意点	講義	教員
6 7	在宅看護における基本技術の 実際	1.面接の実際 1)面接のシナリオ作成 2)面接の実施	GW	教員
8	在宅における服薬管理	1.在宅での服薬管理の特徴 2.在宅での服薬援助・指導の実際	講義	外部講師
9	在宅酸素療法 在宅における吸引と吸入	1.在宅酸素療法とは何か 2.在宅酸素療法に用いられる機器と管理 3.在宅酸素療法中の対象への看護の実際と 注意点 1.適応と条件 2.在宅での吸引、吸入の実際 3.災害時の対応	講義	外部講師
10	在宅における経管栄養 在宅中心静脈栄養	1.在宅での経管栄養の利点と問題点 2.在宅で経管栄養を行っている対象への看護 1.在宅中心静脈栄養とは何か 2.在宅中心静脈栄養を行っている対象への 看護	講義	外部講師
11	在宅における人工呼吸療法	1.在宅人工呼吸器の対象者 2.人工呼吸器の種類と看護 3.在宅での人工呼吸療法の支援体制 4.災害時の対応	講義	外部講師
12	在宅における急変時のケア 在宅におけるターミナルケア	1.訪問看護師の急変時の看護 1.在宅ターミナルの条件 2.在宅でのターミナル期の看護	講義	外部講師
13	人工透析を受けている対象へ の在宅での支援	1.人工透析の種類 2.人工透析を受ける対象への看護	講義	外部講師
14	在宅における褥瘡処置	1.在宅での褥瘡処置の実際と看護	講義	外部講師
15	評価	筆記試験 まとめ		
評価 方法	筆記試験 100点	テキ スト	系統看護学講座 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践	